



道守長崎通信 第4号

平成21年2月

道守長崎会議 HP <http://www.michimori.com/nagasaki/index.html>

ボランティア活動

平成20年12月24日(水)、諫早市多良見町の「花咲かせ隊」の皆さんによって、花植え作業が行われました。パンジー600本とキンセンカ100本を植えられました。国道34号線沿いでキレイに咲いて、ドライバーの心を癒してくれています。



作業の様子

～今月の通り名～

1月は、外海、諫早、平戸で「通り名」ワークショップを行いました。どの地区も、前回までに出た意見がまとまり、ほとんどの「通り名」が決定しました。また、マップについては、駐車場や公衆トイレなど観光客に必要な情報・地元の人しか知らないような面白い情報・郷土の歴史などを載せることになり、細かくチェックしていきました。

さあ、最後の難関はプレートの設置です。今回の「通り名」プロジェクトは、通りに愛着を持って頂くために、プレートを民家に設置することを目標に進めてきました。自治会長さんや商工会の皆さんにご協力頂きながら、設置に向けて動いています。



外海地区では、地域の方の手作りマップをベースに色を塗り、「通り名」を入れ、記載情報を検討しました。



諫早では、プレート
のデザインが決定！
本小路通り
HONKOKU STREET
#01



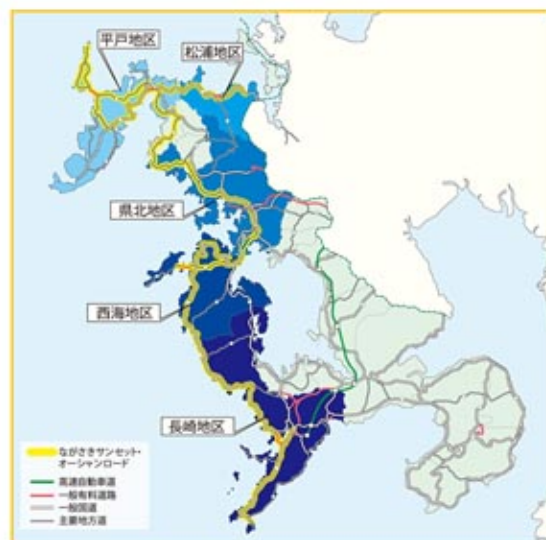
平戸では、「通り名」
マップへの掲載情報が
決定。

長崎・大分 風景街道交流会

平成21年1月22日(木)～23日(金)にかけて、大分の風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」協議会の皆さんが、長崎に視察にられました。せっかくの良い機会だったので、長崎の風景街道「ながさきサンセット・オーシャンロード」で活動されている、西海市大島「環境美化を考える会」の田口さんや「外海ツーリズム協議会」の平さん、道守の中野さん・阿野さん・牧さん・竹馬さんなども参加され、長崎・大分風景街道交流会を行いました。

今回の視察のメインテーマは『通り名』でした。そこで、22日は全国で初めて『通り名』を実施した長崎市寺町界隈の視察をしました。その後、長崎と大分のメンバーで交流会を行い、それぞれの風景街道での活動報告や、地域の自慢、『通り名』プロジェクトの取り組み紹介を行いました。

23日は、大浦青年会会長で「長崎さるく」のボランティアガイドもされている桐野さんの案内で、大浦居留地の視察をしました。大浦地区は、今年度、地域の方と一緒にワークショップを行いながら、『通り名』プロジェクトを実施している地域です。プロジェクトの経過も交えながら、案内して頂きました。



【ながさきサンセット・オーシャンロード】

詳細は裏面へ→

《長崎・大分 風景街道交流会のようす》

1月22日(木)



←この日、長崎は雨でした。足下は悪かったのですが、参加者からは「雨に濡れた石畳も素敵★」という声もありました。



↑交流屋台村では、6つのブースを設け、各団体の取り組みを紹介したり、パネルを展示したりして、情報交換をしました。

1月23日(金)

明治20年代末に建てられた、木造2階建ての私邸。国の登録有形文化財に指定されており、現在も生活されている住宅です。なんと、こちらは道守関係者のご親戚のお宅なのです！

そして
ご厚意で、家の中を拝見
させて頂いたのです。



当時の写真・食器・家具など、本当に貴重なものを見せて頂きました。

孔子廟は、1893年(明治26)清国政府と在日華僑によって建てられました。



ロシア領事館として建てられ、その後アメリカ領事館や住宅として利用されてきた木造洋館です。



観光名所「オランダ坂」。この坂を、かつて偉人たちが通っていたのかと想像すると感動です。



1858年、日米修好通商条約が結ばれ、長崎では自由貿易を開始しました。このレンガ造りの建物は1908年(明治41)に建てられ、外交事務が行われていました。



大浦青年会会長 桐野さん



1904年(明治37)に建てられた、長崎市で最大級の石造りの洋館。



→建物の中も、とても凝って造られています。

※道守会員の皆様の活動情報を、随時募集しております。情報提供お待ちしております！！！！

お問い合わせ：【道守長崎会議広報担当】国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所 調査第二課 沼野・浦田
TEL：095-839-9861 FAX：095-839-9648 E-mail：numano-t8910@qsr.mlit.go.jp